

WinShare オペレーションGUI エラーメッセージ一覧

起動時のメッセージ(1/2)

メッセージ一覧(1/25)

メッセージの内容	説明	対処方法
遠隔キー変換ファイル(wsvkkey2.wcf)が見つかりません。キー入力した文字が他の文字に変わる可能性があります。 WinShare クライアントが正しくインストールされていない可能性がありますので、再度インストールを行ってください。	オペレーションPCとリモートPCとのキーの割り当て方法を記載した遠隔キー変換ファイルをオープンしようとしてエラーになりました。処理は続行しますが、オペレーションPCで入力したキーがリモートPCで正しく再現されない可能性があります。 遠隔キー変換ファイル：WinShareインストールフォルダ¥wsvkkey2.wcf	遠隔キー変換ファイル（wsvkkey2.wcf）が存在するか、また現在ログオンしているWindowsユーザに対するアクセス権が付与されているか確認してください。 存在しない場合、別のオペレーションPCから遠隔キー変換ファイルをコピーしてください。他にオペレーションPCが存在しない場合は、オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。他の各種設定は引き継がれます。
WinShare クライアントの初期化に失敗しました。イメージメモリの確保失敗が原因と考えられます。WinShare クライアントを再起動してください。	メモリ不足により、WinShare GUIを起動することができませんでした。	使用していないアプリケーションがあれば、それらを終了してから、WinShareを実行してください。
WinShare クライアントの初期化に失敗しました。変数の初期化失敗が原因と考えられます。WinShare クライアントを再起動してください。	WinShareが使用するシステム情報を取得することができなかつたため、WinShare GUIを起動することができませんでした。	通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。WinShare GUIを再度起動するか、OSを再起動することで解消することがあります。
WinShare クライアントの初期化に失敗しました。ウィンドウクラスの登録失敗が原因と考えられます。WinShare クライアントを再起動してください。	画面の初期化に失敗しました。 WinShare GUIを起動することができませんでした。	通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。WinShare GUIを再度起動するか、OSを再起動することで解消することがあります。
WinShare クライアントの初期化に失敗しました。ウィンドウの生成失敗が原因と考えられます。WinShare クライアントを再起動してください。	画面の表示に失敗しました。WinShare GUIを起動することができませんでした。	通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。WinShare GUIを再度起動するか、OSを再起動することで解消することがあります。

メッセージの内容	説明	対処方法
WinShare クライアントの初期化に失敗しました。イメージの初期化失敗が原因と考えられます。WinShare クライアントを再起動してください。	画面の初期化に失敗しました。WinShare GUIを起動することができませんでした。	通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。WinShare GUIを再度起動するか、OSを再起動することで解消することがあります。
ツールバーの作成に失敗しました。 Code=XXXX	ツールバーを作成することができませんでした。WinShare GUIを起動することができませんでした。 XXXX：システムから返却されたエラーコードです。*1	エラーコードの原因を取り除いてください。 通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。OSを再起動することで解消することがあります。
キャンパスの作成に失敗しました。 Code=XXXX	画面の表示に失敗しました。WinShare GUIを起動することができませんでした。 XXXX：システムから返却されたエラーコードです。*1	エラーコードの原因を取り除いてください。 通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。WinShare GUIを再度起動するか、OSを再起動することで解消することがあります。
ステータスバーの作成に失敗しました。 Code=XXXX	画面の表示に失敗しました。WinShare GUIを起動することができませんでした。 XXXX：システムから返却されたエラーコードです。*1	エラーコードの原因を取り除いてください。 通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。WinShare GUIを再度起動するか、OSを再起動することで解消することがあります。
OperationValidationId が取得できません。WinShare クライアントの起動に失敗しました。	WinShare GUIの起動に必要な情報が取得できなかったため、WinShare GUIを起動することができませんでした。	インストールが正常に行われていない可能性があります。オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。設定値は引き継がれます。
WinShare クライアントの初期化に失敗しました。暗号化DLLの初期化失敗が原因と考えられます。WinShare クライアントを再起動してください。	プログラムの初期化中に、メモリ不足が発生した可能性があります。	いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。それでも改善しない場合、弊社サポートサービスにご連絡ください。

メッセージの内容	説明	対処方法
暗号化の初期処理に失敗しました。	暗号化の初期処理に失敗しました。	弊社サポートサービスにご連絡ください。
環境変数の値の取得が、以下の理由により失敗しました。 XXXXX 環境変数を確認してください。	指定された接続情報ファイル名に環境変数が含まれていましたが、その環境変数を展開することができませんでした。 XXXXX：エラー原因	環境変数が正しいかどうか確認してください。
環境変数から取得したファイルパス名が、260バイトを超えています。	指定された接続情報ファイル名に環境変数が含まれていましたが、その環境変数を展開すると、パス名が260文字を超えました。	パス名が260文字以下となるように指定して、再度実行してください。
現在、接続中もしくは接続要求中です。ステータス:XXXX。	リモートPCは他のオペレーションPCと接続中か、オペレーションPCからの接続要求を処理中です。接続することができませんでした。 XXXX：リモートPCの状態	しばらくしてから接続してください。リモートPCの設定が「割り込み接続可能」であれば、割り込み接続が可能です。
ホストファイルの読み込みに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・中継サーバを経由していない場合 接続先情報を格納したファイルの読み込みに失敗した可能性があります。 ファイル：WinShareインストールフォルダ¥wshosts.wcf ・中継サーバを経由している場合 中継サーバから取得したリモートPC一覧を使ってツリーを作成しようとしたが失敗しました。 ・電源操作依頼ダイアログを表示する時、wsrhosts.wcfの読み込みに失敗しました。 	接続先情報ファイル（wshosts.wcf）に、現在ログオンしているWindowsユーザに対するアクセス権が付与されているか確認してください。 アクセス権が付与されている場合、ファイルが壊れている可能性があります。接続先情報が登録されている別のオペレーションPCから接続先情報ファイルをコピーすることで、復旧する可能性があります。
XXXXX はネットワーク上に存在していないため接続することはできません。	選択されたリモートPCのホスト名をIPアドレスに変換しようとしてエラーになりました。 接続ダイアログの利用不可状態（状態確認の結果、利用不可だった）のリモートPCのアイテムがダブルクリックされた場合も、このエラーとなります。（ダブルクリックすると、接続する） 状態確認が「利用不可」となるのは、登録されたホスト名をIPアドレスに変換しようとして変換できなかったときです。 XXXXX：リモートPC名	リモートPC接続先管理に登録されたホスト名が正しいことを確認してください。ホスト名が正しい場合は、そのホスト名に対応するIPアドレスが取得可能であるかどうか、DNSなどを確認してください。 そのホスト名に固定のIPアドレスが割り当てられている場合は、リモートPC接続先管理でIPアドレスを登録することで解消されます。

メッセージの内容	説明	対処方法
ファイル(wsrcmd.wcf)の作成に失敗しました。	リモートコマンド情報ファイルを作成しようとしてエラーになりました。処理は続行しますが、リモートコマンドを利用することはできません。 リモートコマンド情報ファイル： WinShareインストールフォルダ ¥wsrcmd.wcf	リモートコマンド情報ファイル (wsrcmd.wcf) に、現在ログオンしているWindowsユーザに対する書き込み権が付与されているか確認してください。またWinShareのインストールフォルダに書き込み権が付与されていることを確認してください。
リモートPC(XXXXX)がネットワーク上に存在しません。	指定されたリモートPCのIPアドレスを取得することができなかつたため、リモートPCに接続することができませんでした。 XXXXX：リモートPCのホスト名	指定したリモートPC名に誤りがないか確認してください。また、リモートPCのIPアドレスが取得可能な環境であることを確認してください。たとえば、DNSにリモートPCが登録されていない可能性があります。
ドメイン名は最大15文字までです。	リモートPCへの接続時に指定したWindowsユーザ名に含まれるドメイン名が長すぎます。	リモートPCに接続するとき指定する認証情報としてWindowsユーザを入力する場合、ドメインユーザ名を指定することが可能です。ドメインユーザ名は「ドメイン名 ¥ユーザ名」の形式ですが、ドメイン名は15文字以下でなければなりません。指定したドメインユーザ名を確認してください。
接続中にエラーが起きました。 Code=XXXXXXXX	受信データに誤りがありました。 XXXXXXXX：誤りデータ	再度接続してください。何度接続しようとしても同じエラーになる場合、リモートPCとのネットワークが不安定になっている可能性があります。ネットワークの管理者に相談してください。
リモートPCとの接続権限がないためこのリモートPCに接続することができません。リモートPCで接続権限を付与してください。	リモートPCの設定で、このオペレーションPCに対してアクセス制限がかけられています。	リモートPCの管理者に確認してください。
リモートPCが全ての接続を拒否する設定のためこのリモートPCに接続することができません。リモートPCで接続を許可するように設定してください。	このリモートPCでは、すべてのオペレーションPCに対してアクセス制限がかけられています。	リモートPCの管理者に確認してください。
ユーザ名またはパスワードが間違っています。正しいユーザ名とパスワードを入力してください。	認証情報が間違っています。まれに認証情報の暗号化/復号化に失敗したときにもこのメッセージが表示されます。	正しいユーザ名、パスワードを入力してください。ユーザ名、パスワードが正しい場合、暗号処理でエラーが発生している可能性があります。その場合は弊社サポートサービスにご連絡ください。
リモートPCでサーバ起動に失敗しました。	リモートPC側で接続確認ありに設定されていましたが、一定時間確認がなされませんでした。	リモートPCの利用者に確認するか、しばらく待ってから接続してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
リモートPCとの接続時に予期せぬエラーが起きました。	リモートPC側で問題が発生したか、オペレーションPC側でメモリ不足が発生しました。リモートPCに接続することができませんでした。	通常発生しないエラーです。使用していないアプリケーションがあれば、それらを終了してから、再接続してください。それでも発生する場合は、リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。
同一PC上でWinShareを実行しようとしています。WinShareは同一PC上で実行することはできません。	自分自身に接続しようとしています。WinShareは、自分自身に接続することはできません。	リモートPC名またはIPアドレスを確認してください。
リモートPC(XXXXX)との接続に失敗しました。	ネットワークエラーにより、リモートPCに接続することができませんでした。 XXXXX：リモートPC名	指定したホスト名またはIPアドレスが正しいか確認してください。リモートPCへのネットワーク経路上に設置されたルータなどのネットワーク機器で遮断されている可能性があります。ネットワーク管理者に相談してください。
リモートPC(XXXXX)との接続に失敗しました。WinShareのサービスが起動されていない可能性があります。再度、接続し直してください。	リモートPC上で、WinShareのサービスプログラムが起動していませんでした。 XXXXX：リモートPC名	リモートPCにて、以下のサービスプログラムが起動しているか確認してください。 WinShare Delivery Service WinShare Remote Service
[接続要求]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	認証処理中に、リモートPCからの応答がなくなりました。	再接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
[リモートPC情報要求]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	リモートPCの情報を取得しようとしたが、一定時間リモートPCから応答がありませんでした。	再接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
[認証接続要求]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	認証処理中に、リモートPCからの応答がなくなりました。	再接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
[リモートコマンド 要求]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	リモートPCからのリモートコマンド情報取得中に、リモートPCからの応答がなくなりました。	再接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
コンソール接続スレッド [*] の生成に失敗しました。	コンソール接続のための準備処理に失敗しました。	メモリ不足が発生している可能性があります。使用していないアプリケーションを終了してから、再度実行してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
必要なファイル XXXXX が存在しません。	<p>コンソール接続に使用するファイルが存在しません。インストールが正常に行われていないか、誤って削除された可能性があります。</p> <p>XXXXX：存在しないファイルのパス</p>	<p>別のオペレーションPCからファイルをコピーしてください。それで改善されない場合、または他にオペレーションPCが存在しない場合は、オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
内部領域の確保に失敗しました。(リモート情報構造体) 処理を続行することができません。	<p>メモリ不足が発生しました。</p>	<p>いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。</p>
ファイル XXXXX の実行に失敗しました。 YYYYY	<p>コンソール接続のためのバッチファイルの実行に失敗しました。</p> <p>XXXXX：ファイル名 YYYYY：失敗の原因</p>	<p>失敗の原因を確認してください。</p> <p>WinShareインストールフォルダ ¥cui_connectフォルダ配下に、ファイル XXXXXが存在しない場合、別のオペレーションPCからファイルをコピーしてください。それで改善されない場合、または他にオペレーションPCが存在しない場合は、オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
wscuiremote.wcf ファイルのアクセスに失敗しました。 処理は続行します。	<p>前回、コンソール接続時に指定した情報を格納したファイルにアクセスすることができませんでした。前回の情報は使用せず、処理を続行します。</p>	<p>現在ログオンしているユーザに、WinShareインストールフォルダ配下の wscuiremote.wcf に対するアクセス権が付与されているかどうか確認してください。</p>
wscuiremote.wcf ファイルの ホスト名/IP アドレス 項目の復号に失敗しました。 処理は続行します。	<p>前回、コンソール接続時に指定した情報を格納したファイルを読み込みましたが、データの復号化に失敗しました。ファイルが壊れている可能性があります。</p>	<p>一度、次のファイルを削除してください。 WinShareインストールフォルダ配下の wscuiremote.wcf</p>
wscuiremote.wcf ファイルの ユーザ名 項目の復号に失敗しました。 処理は続行します。	<p>前回、コンソール接続時に指定した情報を格納したファイルを読み込みましたが、データの復号化に失敗しました。ファイルが壊れている可能性があります。</p>	<p>一度、次のファイルを削除してください。 WinShareインストールフォルダ配下の wscuiremote.wcf</p>
wscuiremote.wcf ファイルの OS種別 項目の復号に失敗しました。 処理は続行します。	<p>前回、コンソール接続時に指定した情報を格納したファイルを読み込みましたが、データの復号化に失敗しました。ファイルが壊れている可能性があります。</p>	<p>一度、次のファイルを削除してください。 WinShareインストールフォルダ配下の wscuiremote.wcf</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
<p>ホスト名/IPアドレス 項目の暗号化に失敗しました。 処理は続行します。</p>	<p>コンソール接続時に指定した情報をファイルに保存しようとしたが、情報の暗号化に失敗しました。処理は続行しますが、次回コンソール接続時に、今回指定した情報は表示されません。</p>	<p>メモリ不足が発生している可能性があります。いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。</p>
<p>ユーザ名 項目の暗号化に失敗しました。 処理は続行します。</p>	<p>コンソール接続時に指定した情報をファイルに保存しようとしたが、情報の暗号化に失敗しました。処理は続行しますが、次回コンソール接続時に、今回指定した情報は表示されません。</p>	<p>メモリ不足が発生している可能性があります。いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。</p>
<p>OS種別 項目の暗号化に失敗しました。 処理は続行します。</p>	<p>コンソール接続時に指定した情報をファイルに保存しようとしたが、情報の暗号化に失敗しました。処理は続行しますが、次回コンソール接続時に、今回指定した情報は表示されません。</p>	<p>メモリ不足が発生している可能性があります。いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。</p>
<p>内部領域の確保に失敗しました。(復号化用領域) 処理は続行します。</p>	<p>メモリ不足が発生しました。</p>	<p>いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。前回コンソール接続時に入力した情報は表示できませんが、処理は続行可能です。</p>
<p>内部領域の確保に失敗しました。(暗号化用領域) 処理は続行します。</p>	<p>メモリ不足が発生しました。</p>	<p>いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。次回コンソール接続時に、今回入力した情報は表示されません。処理は続行可能です。</p>
<p>Tera Termがインストールされていません。</p>	<p>Linuxマシンへのコンソール接続を行うには、オペレーションPCにTera Term 4.92以降がインストールされている必要があります。</p>	<p>オペレーションPCにTera Term 4.92以降をインストールしてください。</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
ポート番号が不正です。65535以下の数値を指定してください。	コンソール接続に使用するポート番号は、65535以下の番号を指定してください。	ポート番号は以下のレジストリ値で指定されています。 オペレーションPCのOSが64ビットOSの場合 キー： HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WINDOWS6432Node¥NEC¥WinShareVer2¥Client オペレーションPCのOSが32ビットOSの場合 キー： HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥WinShareVer2¥Client リモートPCのOSがLinuxの場合 値：CuiLinPort リモートPCのOSがWindowsの場合 値：CuiWinPort
バッチ起動プロセスでタイムアウトが発生しました。code: XXXX	コンソール接続を行うバッチ処理の終了を待っていましたが、待ち合わせ処理でエラーが発生しました。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	エラーコードの原因を取り除いてください。 通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。OSを再起動することで解消することがあります。
リモートPC名が不正です。	リモートPC名の最後に空白文字があります。リモートPC名を確認してください。	リモートPC名の最後に空白文字を付けることはできません。空白文字を削除してから再実行してください。
リモートPCのRemoteValidationIdを取得できません。接続できません。	リモートPCにて、処理に必要な情報を取得することができませんでした。	リモートライセンスが正常にインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。
[接続処理]でタイムアウトしました。WinShareクライアントを再起動してください。	リモートPCとの接続処理中に、リモートPCからの応答がなくなりました。	リモートPCが起動しているか、ネットワークに問題はないか、リモートPCにて以下のサービスプログラムが起動しているか確認してください。 WinShare Delivery Service WinShare Remote Service
リモートPCには以下のオペレーションPCが既に接続しています 割り込み接続を拒否する設定になっているため接続できません	リモートPCには、別のオペレーションPCが接続中です。	ありません。

メッセージの内容	説明	対処方法
接続が許可されている時間帯の終了時刻を過ぎたため切断されました。詳細は管理者に問い合わせてください。	このリモートPCは、接続可能な時間帯が制限されており、その時間外となったため切断されました。	ありません。
現在は接続可能な時間帯ではないため接続が拒否されました。接続可能な時間帯は管理者に問い合わせてください。	このリモートPCは、接続可能な時間帯が制限されており、現在は接続可能な時間帯ではないため、接続することができません。	ありません。
コマンド「イアログ」のオープンが、以下の理由により失敗しました。 XXXXXX	「ファイルを開く」コマンドイアログのオープンに失敗しました。 XXXXXX：エラーの原因	エラーの原因を取り除いてから、再度実行してください。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :WinShareの内部エラー 対処方法 :接続し直してください。	リモートPCへの接続中に、リモートPCからエラーが返却されました。リモートPCで論理矛盾が発生しました。	再接続してください。改善されない場合は、リモートPCの以下のサービスプログラムを再起動してください。 WinShare Delivery Service WinShare Remote Service
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :サーバ 起動数オーバー 対処方法 :	複数のオペレーションPCから同時に接続しようとしています。	Ver6.1以前のWinShareを使用している場合に発生する可能性があります。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :アクセス制限 対処方法 :このオペレーションPCはリモートPCのアクセスホストに登録されていないため接続することができません。	このPCは、リモートPCからのアクセスを許可されていません。	リモートPCの管理者に連絡して、アクセス権を付与してもらってください。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :アクセス不可設定 対処方法 :リモートPCは全ての接続を拒否する設定になっているため接続することができません。	このリモートPCでは、すべてのオペレーションPCに対してアクセス制限がかけられています。 もしくは、接続時に共有領域を指定する設定になっている場合に、一定時間内にリモートPCの利用者によって指定されませんでした。	すべてのオペレーションPCに対してアクセス制限がかけられている場合は、対処方法はありません。 そうでない場合、リモートPCを操作している人がいない可能性があります。リモートPCの利用者に確認してください。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :パスワードエラー 対処方法 :正しいユーザ名とパスワードを入力してください。	認証エラーです。	正しいユーザ名とパスワードを入力してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :ユーザ の入力がありません 対処方法 :パスワード のユーザ 名を入力してください。</p>	<p>認証エラーです。 リモートPC側で、管理ファイルが壊れている可能性があります。</p>	<p>リモートPC側で、WinShare Utilityを使用してユーザ情報を確認してください。ユーザ情報が正しく表示されない場合、管理ファイルが壊れている可能性があります。ユーザ情報を再度登録してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :パスワード の入力がありません 対処方法 :パスワード を入力してください。</p>	<p>認証エラーです。 リモートPC側で、管理ファイルが壊れている可能性があります</p>	<p>リモートPC側で、WinShare Utilityを使用してユーザ情報を確認してください。パスワードが空欄である場合、管理ファイルが壊れている可能性があります。パスワードを再度登録してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :パスワード 認証に失敗しました 対処方法 :ユーザ 名またはパスワード が違います。</p>	<p>認証エラーです。</p>	<p>正しいユーザ名とパスワードを入力してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :ユーザ 認証に失敗しました。 対処方法 :ユーザ 名またはパスワード が違います。</p>	<p>認証エラーです。</p>	<p>正しいユーザ名とパスワードを入力してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :認証ステータスエラー 対処方法 :</p>	<p>認証中に、リモートPCで論理矛盾を検出しました。</p>	<p>通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :チケット認証エラー 対処方法 :インストールされているWinShare のバージョンが違う可能性があります。リモートPCとホストPCのWinShareのバージョンを確認してください。</p>	<p>認証中に、送信データの誤りが検出されました。</p>	<p>再接続してください。接続できない場合は、通信品質に問題がないか確認してください。他のプログラムでも通信エラーが発生している場合は、ネットワークに問題がある可能性があります。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :サーバ のポート番号取得エラー 対処方法 :リモートPCでのポート番号の設定に誤りがある可能性があります。設定を確認してください。</p>	<p>リモートPCが使用するTCPポート番号を取得することができませんでした。</p>	<p>通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :サーバ 起動数制限</p> <p>対処方法 :他のホステーションPCから起動しているWinShareの接続を終了してから、接続し直してください。</p>	<p>このリモートPCに、これ以上オペレーションPCを接続することはできません。</p>	<p>ありません。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :サーバ 起動数制限エラー</p> <p>対処方法 :他のホステーションPCから起動しているWinShareの接続を終了してから、接続し直してください。</p>	<p>このリモートPCに、これ以上オペレーションPCを接続することはできません。</p>	<p>ありません。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :サーバ 起動エラー</p> <p>対処方法 :リモートPCがメモリ不足の可能性があります。リモートPCで動作する不要なアプリケーションを終了させてから接続し直してください。</p>	<p>リモートPCにて、リモート操作を行うためのプログラムの起動に失敗しました。</p>	<p>通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。もしくは、WinShareのインストールフォルダ配下にあるファイルが、誤って削除されたか、正しくインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :サーバ 起動ディレクトリエラー</p> <p>対処方法 :リモートPCでWinShareが正しくインストールされていない可能性があります。</p>	<p>リモートPCにて、リモート操作を行うためのプログラムの起動に失敗しました。</p>	<p>WinShareのインストール配下にあるファイルが、誤って削除されたか、正しくインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :サーバ 起動パスエラー</p> <p>対処方法 :リモートPCでWinShareが正しくインストールされていない可能性があります。</p>	<p>リモートPCにて、リモート操作を行うためのプログラムの起動に失敗しました。</p>	<p>WinShareのインストール配下にあるファイルが、誤って削除されたか、正しくインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :タイムアウト関連エラー 対処方法 :接続し直してください。</p>	<p>リモートPCにて、接続時に共有領域を指定する設定になっていましたが、共有領域を選択するプログラムの起動に失敗しました。</p>	<p>通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。 もしくは、WinShareのインストール配下にあるファイルが、誤って削除されたか、正しくインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :タイムアウト 対処方法 :接続しなおしてください。</p>	<p>リモートPCへの接続要求がタイムアウトしました。</p>	<p>再接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :接続確認回答待ちタイムアウト 対処方法 :接続しなおしてください。</p>	<p>リモートPCへの接続要求がタイムアウトしました。</p>	<p>再度接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :パスワード受信待ちタイムアウト 対処方法 :接続しなおしてください。</p>	<p>認証情報の入力に時間がかかりすぎました。</p>	<p>再度接続してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :サーバ起動タイムアウト 対処方法 :接続しなおしてください。</p>	<p>リモートPCにて、リモート操作を行うためのプログラムの起動に失敗しました。</p>	<p>通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。OSを再起動することで解消することがあります。 もしくは、WinShareのインストール配下にあるファイルが、誤って削除されたか、正しくインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :CS接続完了通知待ちタイムアウト 対処方法 :接続しなおしてください。</p>	<p>リモートPCへの接続要求がタイムアウトしました。</p>	<p>再度接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :リソース確保エラー</p> <p>対処方法 :リモートPCで動作する不要なアプリケーションを終了させてください。</p>	<p>リモートPC上で、動作に必要な情報を取得することができませんでした。</p>	<p>通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :WinShare サーバ が起動できません。</p> <p>対処方法 :WinShare サーバ がインストールファイル外りに存在しない可能性があります。また、WinShare サーバ のファイル名が wsserver.exeでない可能性があります。</p>	<p>リモートPCにて、リモート操作を行うためのプログラムの起動に失敗しました。</p>	<p>通常発生しないエラーです。WinShareのインストール配下にあるファイルが、誤って削除されたか、正しくインストールされていない可能性があります。リモートライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :リモート接続許可日時設定機能による切断</p> <p>対処方法 :接続が許可されている時間帯の終了時刻を過ぎたため切断されました。詳細は管理者に問い合わせてください</p>	<p>リモートPCにて、接続可能な時間帯が設定されており、その時間外となったため、切断されました。</p>	<p>ありません。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :接続エラー</p> <p>対処方法 :指定されたWindowsユーザは、リモートPCにログインされていないため、接続要求が拒否されました。パスワードのユーザ名を入力してください。</p>	<p>認証エラーです。</p>	<p>指定されたユーザは登録されていないか、ロックされています。</p> <p>上記に該当せず、Windowsユーザで認証を行なっている場合、リモートPCの管理情報が壊れている可能性があります。弊社サポートサービスをご利用ください。</p>
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>原因 :接続エラー</p> <p>対処方法 :コンソールには、指定されたWindowsユーザはログインしていません。</p>	<p>Windowsユーザで認証した場合、指定したWindowsユーザ以外のユーザがリモートPCにログイン中です。</p>	<p>指定されたWindowsユーザは、コンソールにログインしていません。現在リモートPCのコンソールにログインしているユーザと異なるユーザで接続することはできません。</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
<p>次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。</p> <p>次の理由で、WinShare サーバが終了しました。</p> <p>原因 :状態推移エラー</p> <p>対処方法 :接続し直してください。</p>	<p>リモートPCで論理矛盾を検出しました。</p>	<p>再接続してください。改善しない場合、リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。リモートPCのOSを再起動することで解消することがあります。</p>
<p>次の理由で、WinShare サーバが終了しました。</p> <p>原因 :ウィンドウ共有エラー</p> <p>対処方法 :共有ウィンドウが存在しないため切断しました。</p>	<p>リモートPCに共有領域がありませんでした。</p> <p>ウィンドウ指定の場合は、指定されたウィンドウが表示されていませんでした。</p> <p>開始時共有領域指定の場合は、領域が指定されませんでした。</p>	<p>リモートPCの利用者に確認してください。</p>
<p>次の理由で、WinShare サーバが終了しました。</p> <p>原因 :矩形領域共有エラー</p> <p>対処方法 :共有する矩形領域が無効な値です。リモートPCの解像度と、指定した矩形領域を確認してください。</p>	<p>リモートPCで、共有領域の指定画面が表示されましたが、リモートPCの利用者によりキャンセルされました。</p>	<p>リモートPCの利用者に確認してください。</p>

メッセージの内容	説明	対処方法
「XXXXX」以下にグループを登録することはできません。	リモートPC接続先管理にて、リモートPCの下に、グループを作成しようとした。 XXXXX：グループを作成しようとしたアイテム名	グループはグループの下に作成してください。
「全体」(一番先頭の項目)を削除することはできません。	リモートPC接続先管理で、ツリー上の最上位アイテムである「全体」を削除しようとした。	「全体」を削除することはできません。配下のアイテムを削除してください。
ホストファイルの更新に失敗しました。	リモートPC接続先情報をファイルに保存しようとしてエラーが発生しました。 ファイル：WinShareインストールフォルダ¥wshosts.wcf	接続先情報ファイル(wshosts.wcf)に、現在ログオンしているWindowsユーザに対するアクセス権が付与されているか確認してください。 アクセス権が付与されている場合、ファイルが壊れている可能性があります。接続先情報が登録されている別のオペレーションPCから接続先情報ファイルをコピーすることで、復旧する可能性があります。
グループ名の長さが256文字を超えています。256文字までのグループ名を設定してください。	接続先管理に登録可能なグループ名は256文字以下です。	グループ名の長さを256文字以下に変更して登録してください。
ホスト名の長さが256文字を超えています。256文字までのホスト名を設定してください。	接続先管理に登録可能なホスト名は256文字以下です。	ホスト名の長さを256文字以下に変更して登録してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
[設定変更要求]でタイムアウトしました。 WinShare クライアントを再起動してください。	変更した設定値をリモートPCに反映しようとしたが、リモートPCからの応答がなくなりました。	再度接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
ファイル(wslcmd.wcf)の作成に失敗しました。	ローカルコマンド情報をファイルに保存しようとしてエラーになりました。 ファイル：WinShareインストールフォルダ¥wslcmd.wcf ファイルのオープンに失敗しました。 ローカルコマンド情報を保存することができませんでした。WinShare GUIを実行しているユーザに、ファイルへの書き込み権が付与されているか確認してください。	ローカルコマンド情報ファイル (wslcmd.wcf) に、現在ログオンしているWindowsユーザに対するアクセス権が付与されているか確認してください。 アクセス権が付与されている場合、ファイルが壊れている可能性があります。ローカルコマンドが登録されている別のオペレーションPCからローカルコマンド情報ファイルをコピーすることで、復旧する可能性があります。
設定を変更できませんでした。	変更した設定値をリモートPCに反映することができませんでした。通信データが正しくありません。	リモートPCに接続しなおしてください。
大きさが入力されていません。	「大きさ」に「ユーザ指定値」が選択されている場合は、そのサイズ (xx%) を入力してください。	「大きさ」に「ユーザ指定値」以外を選択するか、サイズを入力してください。
内部SGファイルへの書き込みに失敗しました。Code=XXXX	設定情報をファイルに書き込もうとして失敗しました。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	WinShareのインストールフォルダに、ログオンしているユーザに対する書き込み権があるか確認してください。また、インストールフォルダ配下に存在する以下のファイルに、ログオンしているユーザに対する書き込み権があるか確認してください。 wspow_ope.wcf wshosts.wcf

メッセージの内容	説明	対処方法
ファイル(wsrcmd.wcf)の読み込みに失敗しました。	リモートコマンド情報ファイルをオープンしようとしてエラーになりました。リモートコマンドの一覧を表示することができません。 ファイル：WinShareインストールフォルダ¥wsrcmd.wcf	リモートコマンド情報ファイル（wsrcmd.wcf）が存在するか確認してください。存在する場合は削除し、一度リモートPCを切断してから、再度接続してください。リモートコマンド情報ファイルが再作成されます。
[XXXXX]の実行に失敗しました。	ローカルコマンドの実行がエラーになりました。 XXXXX：コマンド名	登録したコマンドライン、カレントディレクトリに誤りがないか確認してください。また、コマンドラインに記載したコマンドが存在することを確認してください。コマンドが実行可能であることを確認してください。
[ESMPRO/WS FileTransfer]の実行に失敗しました。	ファイル転送GUI（WSFT）の起動がエラーになりました。	WinShareのインストールフォルダ配下のファイルが削除されている可能性があります。オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。
[Clipboard Send]の実行に失敗しました。	クリップボードテキスト送信を実行しようとしてエラーになりました。	WinShareのインストールフォルダ配下のファイルが削除されている可能性があります。オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。
[Clipboard Recv]の実行に失敗しました。	クリップボードテキスト受信を実行しようとしてエラーになりました。	WinShareのインストールフォルダ配下のファイルが削除されている可能性があります。オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。
リモートPCのユーザによってシャットダウンが拒否されました。	リモートシャットダウンが、リモートPCの使用者によって拒否されました。	ありません。
リモートPCをシャットダウンする権限がないため、シャットダウンを中止しました。	接続時に指定したユーザには、リモートシャットダウンを実行する権限がありません。	ありません。
リモートPCのシャットダウンに失敗しました。	原因不明でシャットダウンが失敗しました。	通常発生しないエラーです。リモートPCのシステムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。
リモートコマンドが無効なディレクトリに設定されているため実行できません。	登録されているリモートコマンドのフォルダが無効です。	リモートPCのWinShare Utilityを使用して、リモートコマンドの登録内容を確認してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
リモートコマンドが指定されたディレクトリにないため実行できません。	登録されているコマンドが存在しません。	リモートPCのWinShare Utilityを使用して、リモートコマンドの登録内容を確認してください。
リモートコマンドが実行できませんでした。	リモートコマンドを起動することができませんでした。	リモートPC側で、コマンドが実行形式のファイルであるか、ログオンしているユーザーに実行権が付与されているか確認してください。また、リモートコマンドが正しくインストールされているか確認してください。
[リモートコマンド 実行]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	リモートPCにリモートコマンドの実行を指示しましたが、応答がありませんでした。	再度接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
[リモートシャットダウン実行]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	リモートPCにシャットダウンを指示しましたが、応答がありませんでした。	再度接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
[操作モード 変更]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	リモートPCに操作モードの変更を指示しましたが、応答がありませんでした。	再度接続してください。 つながらなければ、ネットワークに問題がないか確認してください。
フォルダの作成が以下のエラーコードにより失敗しました。Code=XXXX	接続先管理情報をエクスポートしようとして、フォルダの作成に失敗しました。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	指定したフォルダの上位フォルダが存在するか、またログオンしているユーザーに対するアクセス権が付与されているか確認してください。
接続先管理情報ファイルの読み込みに失敗しました。Code=XXXX	接続先管理情報ファイルの読み込みに失敗しました。ファイルが壊れている可能性があります。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	WinShareのインストールフォルダ配下にある以下のファイルに対して、ログオンユーザーに対するアクセス権が付与されているか確認してください。 wspow_ope.wcf wshosts.wcf
エクスポートファイルの書き込みに失敗しました。Code=XXXX	接続先管理情報をエクスポートしようとして、エクスポートファイルへの書き込みに失敗しました。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	ファイルを作成しようとしたフォルダに、ログオンしているユーザーに対するアクセス権が付与されているか確認してください。
インポートファイルの読み込みに失敗しました。Code=XXXX	接続先管理情報をインポートしようとして、インポートファイルの読み込みに失敗しました。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	インポートファイルが存在するか確認してください。また、インポートファイルに、ログオンしているユーザーに対する読み込み権が付与されているか確認してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
入力ファイルの形式が正しくありません。	インポートファイルが壊れています。	接続先管理情報エクスポートを実行して、インポートファイルを作成しなおしてください。
接続先管理情報ファイルの変換に失敗しました。Code=XXXXXXXX	旧形式 (Ver6.0以前) の接続先管理情報ファイルを新形式に変換しようとして失敗しました。 XXXXXXXX: エラーの原因を表すコード	WinShareのインストールフォルダに、ログオンしているユーザに対するアクセス権が付与されているか確認してください。また、WinShareのインストールフォルダが存在するドライブの空き容量を確認してください。
接続先管理情報ファイルの形式確認に失敗しました。Code=XX	接続先管理情報ファイルが壊れています。 XX: 接続先管理情報ファイルのバージョン	WinShareのインストールフォルダ配下にある以下のファイルを削除してから再実行してください。 wshosts.wcf
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :シャットダウン回答待ちタイムアウト 対処方法 :接続しなおしてください。	リモートPCにシャットダウンを指示しましたが、応答がありませんでした。	ネットワークに問題がないか確認してください。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :シャットダウンキャンセル 対処方法 :	リモートシャットダウンを指示する時、「実行アプリケーションの終了方法」に「ユーザによる終了」を指定した場合、リモートPCのディスプレイにシャットダウンの許可を求めるメッセージが表示されます。そこで、シャットダウンが拒否されました。	ありません。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :シャットダウン権限エラー 対処方法 :リモートPCのサービスプロセスに、シャットダウンの権限を設定してください。	リモートシャットダウンを指示しましたが、現在リモートPCにログオンしているユーザに、シャットダウンを実行する権限がありませんでした。	リモートPCに、シャットダウン権限のあるユーザでログオンしなおすか、今のユーザに権限を付与してから再実行してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
wsclient: XXXXはオプションではありません。	オプションの先頭には"/"または"-"が必要です。 XXXX：間違って指定されたオプション	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -XXXXは引き数を持たないかまたはサポートされていないオプションです。	このオプションには引き数が必要です。 例：/port ポート番号 XXXX：引き数の必要なオプション	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -XXXXオプションの引き数 YYYYY は不正です。	オプションの引き数が間違っています。 コマンドラインを確認してください。 XXXX：オプション YYYYY：間違って指定された引き数	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -XXXXオプションの引き数は不正です。	引き数に数字でない文字列か、大きすぎる値が指定されています。コマンドラインを確認してください。	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -XXXXオプションはサポートされていません。	存在しないオプションが指定されました。 XXXX：間違って指定されたオプション	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: パラメータで指定した認証方式は、リモートPCで許可されていません。	指定された認証方式は、このリモートPCでは使用することができません。	別の認証方式を指定してください。
ユーザ名の形式が正しくありません。	認証方式にWindowsユーザを選択している場合のユーザ名が正しくありません。ドメインユーザ名を指定する場合は、以下の形式で指定してください。 ドメイン名¥ユーザ名	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -titleオプションの引き数 XXXX は不正です。titleオプションで指定できる文字列の大きさは 256 文字までです。	タイトルに指定できる文字数を超過しています。 XXXX：間違って指定された引き数	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
不正な値がオートログアウト時間に指定されています。オートログアウト時間は1分から60分の間で指定してください。	オートログアウト時間に数字以外の文字が指定されています。1~60の数字を指定してください。	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -modeオプションの引き数 XXXX は不正です。 modeオプションで指定できる値は det(抑止モード)、obs(監視モード) または ope(通常モード) です。	modeオプションの引き数に、指定できない文字列が指定されています。 XXXX：間違って指定された引き数	コマンドラインを修正して、再度実行してください。
wsclient: -portオプションの引き数 XXXX は不正です。portオプションで指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。	0~65535の数字を指定してください。 XXXX：間違って指定された引き数	コマンドラインを修正して、再度実行してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
wsclient: -XXXXXオプションの引き数 YYYYYY は不正です。256桁以内の文字 列を指定してください。	remoteオプションまたはserverオプション の引き数が長すぎます。256文字以内 で指定してください。 XXXXXX：オプション YYYYYY：間違って指定された引き数	コマンドラインを修正して、再度実行して ください。

メッセージの内容	説明	対処方法
リモート状態確認コマンドの起動に失敗しました。	リモートPCの状態を確認するコマンドを起動することができませんでした。	WinShareのインストールフォルダ配下に"wsgetsts.exe"が存在するか確認してください。存在しない場合は、インストールが正常に行われていないか、ファイルが誤って削除された可能性があります。別のオペレーションPCからファイルをコピーしてください。他にオペレーションPCが存在しない場合は、オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。
リモート状態確認コマンドでタイムアウトが発生しました。	リモートPCの状態を確認するコマンドが一定時間内に終了しませんでした。	通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。
電源制御コマンドの起動に失敗しました。	電源制御コマンドの起動に失敗しました。	WinShareのインストールフォルダ配下に"wspowctl.exe"が存在するか確認してください。存在しない場合は、インストールが正常に行われていないか、ファイルが誤って削除された可能性があります。別のオペレーションPCからファイルをコピーしてください。他にオペレーションPCが存在しない場合は、オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。
電源制御コマンドでタイムアウトが発生しました。	電源制御を行うコマンドが一定時間内に終了しませんでした。	通常発生しないエラーです。システムが不安定な状態か、高負荷である可能性があります。システムの異常を知らせるイベントログが出力されていないか確認してください。
資源不足	メモリ不足が発生しました。	いくつかのアプリケーションを終了してから、再度実行してください。
AMTエラーが発生しました。リモートPCのAMTの状態やWinShare ユティリティでの電源情報設定を確認してください。	リモートPCに電源制御指示が行えませんでした。	リモートPCに通信パッケージが届く状態であるか、またAMTの設定に問題がないか確認してください。リモートPCのWinShare Utilityで設定したAMT情報が正しいことを確認してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
Winsockエラーが発生しました。	電源制御処理において、通信処理のエラーが発生しました。	ネットワークに異常がないか、選択したリモートPCのホスト名に誤りがないか、ホスト名に対応するIPアドレスが検索可能か（DNSへの登録など）確認してください。
電源情報が設定されていません。	指定したリモートPCの電源情報がありません。電源操作を行うリモートPCは、一度リモート操作を行ったマシンでなければなりません。	リモート操作を行ってください。
認証情報が設定されていません。	電源操作の認証情報取得に失敗しました。	リモートPCのWinShare Utilityにて、電源操作を許可されたユーザが登録されているか確認してください。
リモートPCで接続拒否が設定されているため電源制御が拒否されました。	リモートPCで、全ての接続要求を拒否する設定となっているため、電源制御を行うことはできません。	ありません。
リモートPCとの接続権限がないため電源制御が拒否されました。	このPCは、リモートPCからのアクセスを許可されていません。	アクセス許可のあるオペレーションPCから実行してください。
このユーザは電源制御を許可されていません。	リモートPC側の設定で、このユーザには電源操作が許可されていません。	別のユーザで、再度実行してください。
WOL電源情報の読み込みに失敗しました。	選択したリモートPCのWake on LAN情報が読み込めませんでした。	電源情報が壊れている可能性があります。「接続」メニューの「リモートPC接続先管理」にて、リモートPCの電源情報を確認してください。電源情報が未登録となっている場合は、一度、対象リモートPCをリモート操作してください。それでも電源情報が登録されない場合は、リモートPC接続先管理から対象リモートPCを削除して、再度登録してください。
WOL電源情報が設定されていません。	リモートPCのWake on LAN情報が、オペレーションPCにありませんでした。	電源情報が壊れている可能性があります。「接続」メニューの「リモートPC接続先管理」にて、リモートPCの電源情報を確認してください。電源情報が未登録となっている場合は、一度、対象リモートPCをリモート操作してください。それでも電源情報が登録されない場合は、リモートPC接続先管理から対象リモートPCを削除して、再度登録してください。

メッセージの内容	説明	対処方法
依頼先PC(XX.XX.XX.XX)への接続に失敗しました	依頼先PCに接続することができませんでした。 XX.XX.XX.XX：依頼先PCのIPアドレス	依頼先PCが起動しているか、ネットワークに問題はないか、依頼先PCにて以下のサービスプログラムが起動しているか確認してください。 WinShare Delivery Service WinShare Remote Service
依頼先PC(XX.XX.XX.XX)への要求に失敗しました	依頼先へのデータ送信が失敗しました。 XX.XX.XX.XX：依頼先PCのIPアドレス	依頼先PCが起動しているか、ネットワークに問題はないか、依頼先PCにて以下のサービスプログラムが起動しているか確認してください。 WinShare Delivery Service WinShare Remote Service
電源制御を行うためには、リモートPCのWinShare ユティリティで電源情報を設定した後、WinShare クライアントで一度接続を行ってください。	オペレーションPCに、リモートPCの電源情報が登録されていません。	リモートPCに一度接続してください。
電源制御を行うためには、WinShare クライアントで一度接続を行ってください。	オペレーションPCに、リモートPCの電源情報が登録されていません。	リモートPCに一度接続してください。
[電源情報要求]でタイムアウトしました。WinShare クライアントを再起動してください。	リモートPCから電源情報を取得しようとしたのですが、応答がありませんでした。	ネットワークに問題はないか、リモートPCにて以下のサービスプログラムが起動しているか確認してください。 WinShare Delivery Service WinShare Remote Service
内部モジュールの起動に失敗しました。 Code=XXXX	電源情報設定ツールの起動に失敗しました。 XXXX：システムから返却されたエラーコード *1	WinShareのインストールフォルダ配下に"WsStPInf.exe"が存在するか確認してください。存在しない場合は、インストールが正常に行われていないか、ファイルが誤って削除された可能性があります。別のオペレーションPCからファイルをコピーしてください。他にオペレーションPCが存在しない場合は、オペレーションライセンスを上書きインストールしてください。各種設定は引き継がれます。

メッセージの内容	説明	対処方法
予期せぬ状態で終了を実行しようとしてしました。(状態値:XXXX)	通常は終了しない状態で終了しようとしています。 XXXX：状態を表すコード	ありません。
他のオペレーションPC(XXXXX:YYYYY)に割り込まれたため、リモートPC(ZZZZZ)から切断しました。	他のオペレーションPCから割り込み接続されたためリモートPCと切断しました。 XXXXX：割り込み接続したオペレーションPCのホスト名 YYYYY：割り込み接続したユーザ名 ZZZZZ：切断されたリモートPC名	ありません。
次の理由で、WinShare マネージャから切断されました。 原因 :電文エラー 対処方法 :インストールされているWinShare のバージョンが違う可能性があります。リモートPCとオペレーションPCのWinShareのバージョンを確認してください。	リモートPCへの送信データに誤りが検出されました。	再接続してください。ネットワークに問題がないか確認してください。他のプログラムでも通信エラーが発生している場合は、ネットワークに問題がある可能性があります。
次の理由で、WinShare サーバが終了しました。 原因 :オートログアウト 対処方法 :オートログアウトが早い場合は、メニュー[設定]→[動作変更]でオートログアウト時間を変更してください。	一定時間無操作だったため切断されました。	ありません。

※1:Windowsシステムエラーコード

システムエラーコードの一覧やその詳細な内容については、以下Microsoft社の公開する情報を参照してください。

System Error Codes

<https://docs.microsoft.com/en-us/windows/win32/debug/system-error-codes>